

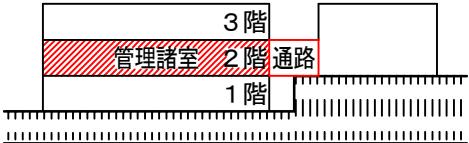
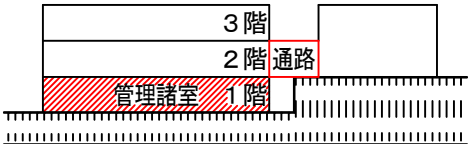
第5回

稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

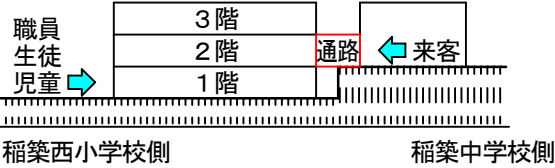
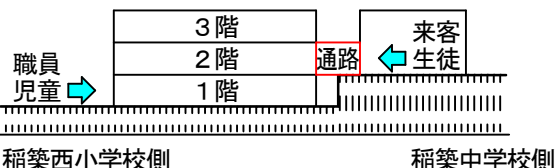
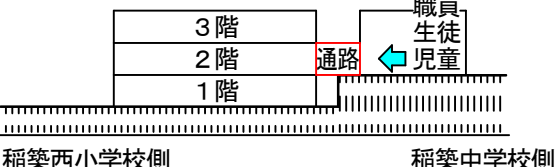
平成30年12月13日

□ 稲築中学校区の管理諸室位置比較について
1階配置と2階配置の比較を示します。

比較項目	断面イメージ	利点	課題点	対応策
2階配置案	 <p>稲築西小学校側</p> <p>稲築中学校側</p>	<p>小学グラウンド及び中学グラウンドと地域交流ゾーンを含め見渡しが良い。</p> <p>体育館及び体育館・武道場（社会体育対応）へ移動に便利。</p> <p>図書館、体育館、武道場、グラウンド等の地域交流ゾーン来客玄関、受付等を連絡のよい位置に計画可能。</p> <p>校舎の中央階に配置。 （小学校低学年の視認性高い位置に配置可能）</p> <p>職員室は、屋外運動場、アプローチ部分などの見通しがよく、校内各所への移動に便利な位置に計画することが重要である。</p> <p>※文部科学省「小学校施設整備指針」、 文部科学省「中学校施設整備指針」より</p>	<p>小学校低学年と同一階でない。</p>	<p>小学校低学年の視認性が高い位置に配置。</p> <p>学校敷地内の動線（児童、生徒、来客）を明確にする。</p> <p>学校敷地内を見渡せる為、来客動線を外れた人を発見しやすい。</p> <p>職員室から直接1階へ行ける動線の確保。</p> <p>防犯カメラ等の設置。</p>
1階配置案	 <p>稲築西小学校側</p> <p>稲築中学校側</p>	<p>小学校低学年と同一階である。</p> <p>接地している。</p>	<p>中学グラウンドと体育館、武道場の地域交流ゾーンを含め見渡しが悪い。 （敷地全体の見通しに死角ができる）</p> <p>図書館、体育館、武道場、グラウンド等の地域交流ゾーン来客玄関が2階にあるため、管理諸室からの連絡、管理が難しい。</p> <p>事務室は、校長室、職員室、外来者用玄関、受付等との連絡のよい位置に計画することが重要である。</p> <p>※文部科学省「小学校施設整備指針」、 文部科学省「中学校施設整備指針」より</p>	<p>学校敷地内の動線（児童、生徒、来客）を明確にする。 防犯カメラ等の設置。</p> <p>事務室等を2階に設置。</p>

稲築中学校区の昇降口位置比較について

□ 稲築中学校区の昇降口位置比較について
 稲築西小学校敷地側と稲築中学校敷地側設置の下記3項目比較を示します。

比較項目	断面イメージ	利点	課題点
1階設置集約案	 <p>稲築西小学校側</p> <p>稲築中学校側</p>	<p>生徒 来客者と動線分離が可能。</p> <p>児童 小学がラウンド側に位置し、平行移動可能。 来客者と動線分離が可能。</p>	<p>中学がラウンド利用時、上下移動が生じる。</p> <p>—</p>
1・2階設置分離案	 <p>稲築西小学校側</p> <p>稲築中学校側</p>	<p>生徒 中学がラウンド側に位置し、平行移動可能。</p> <p>児童 小学がラウンド側に位置し、平行移動可能。 来客者と動線分離が可能。</p>	<p>来客者と動線が交差。</p> <p>—</p>
2階設置集約案	 <p>稲築西小学校側</p> <p>稲築中学校側</p>	<p>生徒 中学がラウンド側に位置し、平行移動可能。</p> <p>児童 —</p>	<p>来客駐車場側に位置し、来客と動線が交差する。（安全性） 全ての動線が集約するため、混雑、交差。</p> <p>小学校がラウンド利用時、上下移動が生じる。 全ての動線が集約するため、混雑、交差。</p>

公立図書館併設の利点と課題

[資料9]

利点	課題	課題対応策
<ul style="list-style-type: none"> • 読み聞かせなどの地域活動がより身近になり、図書ボランティアが近くで活動することにより、児童生徒が本に触れる機会が増える • ボランティア活動、地域活動の拠点として活用でき、おはなし会などで地域の方や乳幼児と触れ合う機会をもてる • 施設同士の協力による催物（企画展示やワークショップ） • 蔵書の幅が広がる（専門書など） • 図書館を身近に感じることで、休日や卒業しても通いやすい環境を作ることができる • 就学前の子ども達が児童生徒とふれあい、学校の雰囲気を知れる • 中学校区に公立図書館を残せる • 公共施設での規律を身近に学ぶことができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 不審者対策などの安全管理面 • 施設管理の区分 • 貸出しシステム • 学校図書の貸出し • 学校の優先利用について • 学校敷地内での設置になると一般の利用者が利用しにくくなる可能性が考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> • 明確な動線の区分け（出入り口を別にする、臨機応変に対応できる図書館の間取りなど） • 監視カメラの設置や、地域ボランティアなどの配置 • 公立図書館と学校の管理区分を明確に分離する • 貸出しシステムの統一 • 貸出し範囲の取り扱いを定める（学校図書を一般に貸し出すのかなど） • 学校エリアと開放エリアの優先使用について運用方法にて対応 • 一般利用者が寄りやすい動線の確保

学校図書室と公立図書館複合化の事例（東京都立川市）

